



CONTENTS

滋賀の街道(第11回)

中山道「鳥居本宿」

鳥居本宿はそれまでの小野宿に代わり、江戸時代になって新たに宿として設置された。

地元に残る史料の中に慶長8年(1603)に徳川家康の派遣した検地奉行、嶋角右衛門の命により小野から鳥居本に移したという伝承が残る。

鳥居本の南側は彦根城下を通り中山道につながる朝鮮人街道が合流するポイントであり、宿の北端では摺針峠へと登る中山道と北上して米原方面へ向かう北国街道に分かれる。

宿の南北ともに分岐点というのがこの宿の特徴である。

・近江中山道ガイドブック(近江中山道400年記念事業実行委員会)より

- ・第4回「建築士の日」フェスティバル 報告…………… 2
- ・『2010びわこペーロン大会』参加者募集…………… 3
- ・青年部会 仰木の里 2010子供フェスタ 報告
- ・女性部 DoシリーズNo.56募集…………… 4
- ・平成22年度 近畿建築士会協議会女性部会 合同見学会のご案内…………… 5
- ・全国女性建築士連絡協議会 報告…………… 6
- ・「建築士を探そう」netにお申し込みを
- ・平成22年度 第3期 一級・二級・木造建築士定期講習開催… 7
- ・平成22年度 地域貢献活動基金助成事業・団体決定
- ・8月の暦…………… 8
- ・田中みきおさんの中米見聞録〈第9回〉
- ・滋賀の街道



第4回「建築士の日」

フェスティバル 報告

～フェスティバルを顧みて～まちづくり委員会 樋栄 良次

過日の6月26日(土曜日)ビバシティ彦根において第4回「建築士の日」フェスティバルを開催しました。

日本建築士会連合会では、7月1日を「建築士の日」と制定し、各都道府県建築士会にて、いろいろな事業を行っています。

滋賀県建築士会でも、平成19年より、県内各地の会場をお借りして、日頃の活動、役割を広く県民の皆様にご存知いただくこと「建築士の日」フェスティバルと銘打ってイベントを開催してきました。

昨年からは会場を一ヶ所に集約して内容、スタッフの充実を図ってきました。

今年も企画から運営、司会から着ぐるみの中身まですべて会員が行いました。

スタッフの面々は、建築士としては敏腕のプロフェッショナルであってもイベント活動は、アマチュアです。完成されたシナリオもなく、当日になっても準備や進行に戸惑ってばかりでした。

スタッフの中に雨男、雨女がいるのか、お天気にも恵まれないのが幸いして数え切れないほどのたくさんのお客様をお迎えすることが出来ました。

彦根市内のめぐみ、どんぐり保育園の園児の皆さんによる合唱や和太鼓の演奏、ピバッチェ君やしまさこにゃん君も手拍子して精一杯喝采していました。

県内の建築を学ぶ四校、彦根工業高校、八幡工業高校、安曇川高校、長浜北星高校の生徒の皆さんの模型や製図の課題作品の展示をしていただき、私たちも力作にすっかり見入っていました。将来の建築士会を担ってくれる生徒諸君におおいに期待したいと思います。

滋賀県、彦根市の耐震診断と耐震改修の紹介では、「自動かみふるる装置」や「防災ベッドのミニチュア」が人目を引いていました。

彦根市消防から滋賀県地震体験車「ぐらぐら号」を派遣していただきました。あいにくの雨天でしたが、多くの方に体験してもらって、日頃の地震対策、地震時の対応の仕方などを教えていただきました。また、平成23年5月31日(当地)までの住宅用火災警報器の設置について紹介していただきました。未設置の方は、大切な生命と財産の保護の為、ぜひ一日でも早く設置しましょう。

大阪ガス、高畑産業による環境にやさしい(エコ)設備の紹介、青年部によるお絵かきフリーのベニヤドーム、積み木パズル、ケルンによる立体積み木、女性部の女性による女性のための相談会、彦根、湖北、湖東支部によるスーパーボールつまみ、輪投げは好評でした。BBCやエフエムひこねの取材も受けました。

わからない同士が互いに協力し合って失敗を重ねても物事を成し遂げる「ものづくり」への取り組みが喜びであり、そんな仲間がいるのが建築士会のいいところではないでしょうか。

ご協力くださいました、各保育園、各県立高校、滋賀県、彦根市ならびに後援、協賛をいただきました各関係の皆様、心よりお礼申し上げます。

最後に本部、支部、青年部、女性部の皆様、お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

来年こそは、晴れの日を願って、一歩ずつながら進歩してまいりますので今後とも暖かい応援をお願い致します。

ところで会長っ、来年は何処へ行きますでしょうか？



滋賀県、彦根市による耐震診断・改修紹介コーナー



市内保育園児合唱によるオープニングイベント



市内保育園児による和太鼓演奏に来場者は釘づけ



屋外では起震車「ぐらぐら号」による地震体験



会場内のお遊びコーナーでは子供たちも大喜び



青年部による積み木パズルは一日中大賑わい



県内学生の建築模型展にも多くの来場者が足を止めた

『2010びわこペーロン大会』参加者募集!!

いよいよ、今月8月21日(土)大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチにおきまして、第20回「2010びわこペーロン大会」が開催されます。先日、青年部会の有志で2度程練習をして来ました!後は、当日のレースを待つばかりです。

昨年は、やや不甲斐無い記録でしたが、今年は昨年よりさらにパワーUPすること間違いなし、青年部会の団結力・若い力をご期待下さい。又、当日はバーベQなど皆さんが楽しんでいただける『外ご飯』を予定しています。

再度、一緒に汗をかける参加者及び応援に来ていただける方を募集します!!

参加希望の方は、(社)滋賀県建築士会事務局までご連絡をお願いします。



日時 8月21日(土) 7:00～ (8:00～ 開会式)*
場所 大津市湖岸なぎさ公園 サンシャインビーチ
参加費 2,000円

連絡先 (社)滋賀県建築士会事務局
TEL:077-522-1615
FAX:077-523-1602

氏名 _____ 連絡先 _____

氏名 _____ 連絡先 _____

氏名 _____ 連絡先 _____

※台風接近又は警報発令時は、22日に延期になります。

青年部会

仰木の里 2010子供フェスタ 報告

7月19日(月) 仰木の里「2010子供フェスタ」で木のパズルづくり、ベニヤドームづくりを実施しました。ベニヤドームは夏の太陽の下にも関わらず、子供、保護者、先生ですごく楽しそうに協力して作って頂きましたので、『ものづくりの面白さ』というのを体験して頂けたように思います。

このフェスタの参加者は仰木の里小学校及び仰木の里東小学校を対象にしておられ、低学年は保護者同伴ということで多くの方が来場されていたので、建築士会のPRに良い機会となりました。



デジカメによる建築写真の撮り方 実習PART4

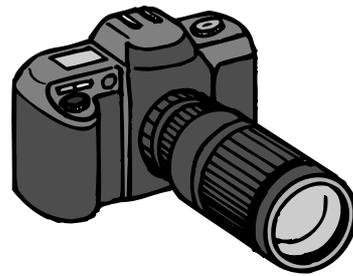
～デジカメ画像をイジってみよう～

デジタルカメラの講習会、実習第4回のご案内です。今回は、デジタル画像をパソコンに取り込んだ後の画像補正の方法や、更に効果的な写真にグレードアップさせる方法を学びます。講師は引き続き、松居直和氏です。プロジェクターを用いての講義形式です。デジタルカメラ講習の集大成となります。多数のご参加お待ちしております。



3単位

- 日 時：平成22年9月7日(火)
- 場 所：大津市におの浜1丁目1番18号 建設会館
- 募 集 定 員：20名（定員になり次第締め切らせて頂きます）
- 参 加 費：会員 2,000円 一般 3,500円
- C P D 単 位：3単位を予定してます
- タイムスケジュール 13:00～15:30 講 習
15:30～16:00 シリーズを通しての総評
- 持参するもの：デジタルカメラ、取扱説明書、補正して欲しい画像データ
- 申 込 方 法：FAXで申込みの上、参加費の入金をもって申込受付とさせていただきます。
- 振 込 先：(社)滋賀県建築士会 郵便振替 口座記号番号 01010-9-21890
※振込手数料は参加者負担でお願い致します。
※参加費振込後のキャンセルによる返金はございません。
※必ず個人名の記入をお願い致します。
- 申 込 締 切：平成22年8月27日(金)
- 会場へのアクセス：



■電車

- JR東海道本線 膳所駅下車 徒歩10分
- JR東海道本線 大津駅下車 タクシー5分

女性部会		デジカメによる建築写真の撮り方		2010.9.7(火)
支 部	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)		
支部				
支部				
支部				

お申し込みはFAXにて…(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

平成22年度 近畿建築士会協議会女性部会 合同見学会 ～平城遷都1300年祭と第1次大極殿～



今から1300年前、西暦710年、都は藤原京から平城京に遷都されました。それを記念して今年、奈良県全域を青龍、玄武、白虎、朱雀のエリアに分け、それぞれに様々なイベント、行催事が数多くあります。

メイン会場の平城宮跡では、2001年に始まった第1次大極殿復原工事が180億円かけて今年4月に完成しました。そんな1300年祭と大極殿を味わっていただくとう合同見学会を開催します。男女を問わず会員以外（ただし中学生以上）の方もお問い合わせの上、平城宮跡にお集まりください。



開催日 平成22年9月18日(土) 9時～15時30分

開催場所 奈良市平城宮跡 ●朱雀門・第1次大極殿、遺構展示館、東院庭園広場、大極殿前 見学
●講演：奈良文化財研究所 講堂にて
講師／独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
文化遺跡部 建造物研究室 室長 島田 敏男

参加費 建築士会会員 3,000円
会員外・一般 4,000円(小学生以下は参加できません)

申込み方法について

- 滋賀県でとりまとめの上申し込みます。参加申込書にご記入の上FAX又はメールで滋賀県建築士会まで申し込みください。
- 参加費につきましては、下記まで各自お振り込み下さい。(振込手数料は参加者負担)入金確認をもって参加申込みとなります。必ず個人名の記入をお願いいたします。
- 参加申込み後のキャンセルは、返金できませんのでご了解ください。

申込み及び振込先 (社)滋賀県建築士会 TEL.077-522-1615 FAX.077-523-1602
MAIL shiga-sa@mx.bw.dream.jp
振込先 郵便振替 口座記号番号 01010-9-21890

申込締切日 平成22年8月20日 (定員になり次第締切り)

当日集合場所 近鉄大和西大寺駅 南改札口 9時

近畿建築士会女性部会		合同見学会		2010.9.18(土)
お名前 (ふりがな)	連絡先 TEL (当日連絡用)	会員／一般	勤務先名	
.....		会員 ・ 一般		
.....		会員 ・ 一般		
.....		会員 ・ 一般		

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

本年度は、全国女性建築士連絡協議会発足から20年の節目の年。(我が滋賀県建築士会女性部会も同様、発足20年)梅雨明け早々の暑いあつい東京で「女性建築士の新たなる出発」をメインテーマにその全国大会は開催されました。滋賀県からは7名が参加いたしました。

7月16日の第一日目は、京都府立大学 宗田好史准教授による「女性とまちづくり」をテーマに基調講演がありました。翌17日には参加者がAからHの8分科会に分かれ、それぞれのテーマごとにコメンテーターによる活動発表と意見交換が行われました。

「士会活動と女性」をテーマにしたA分科会では滋賀県建築士会の河島さんが20年のあゆみとして、Doシリーズの記録としてNo.54までの経緯を説明。そのあと伊東さんから「Doシリーズ伝統工法勉強会を通して学んだこと」と題して住まい手・設計者・工務店・大学との協力で大きな成果をあげた伝統工法の5回にわたる研修会の様子を発表していただきました。

その後全体会でのまとめのコメントがあり、参加者総意による今大会のアピール文が発表されました。

次回全国大会は、お隣の京都での開催です。多くの会員の皆様のご参加を期待しています。尚、分科会報告はHPにアップしております。大会アピール文も掲載しておりますので、ぜひお読みください。



参加者全員で



A分科会報告の田井中氏



ポスターセッション展示風景

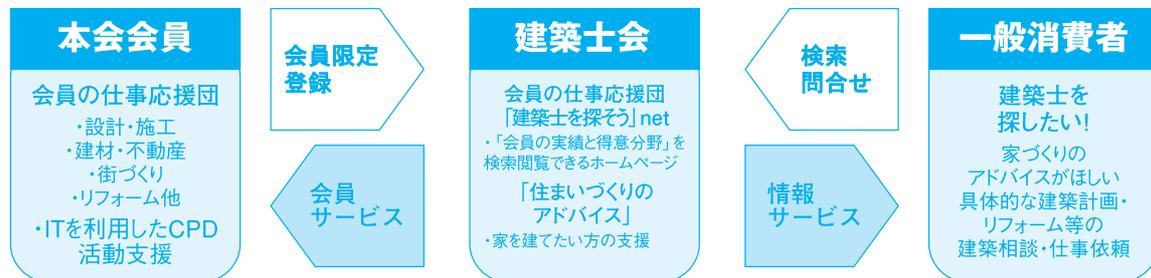


H分科会「集まって住む」の様子

会員の仕事応援団「建築士を探そう」netにお申込みを!

パソコン初心者の方でも、自社のホームページはまだ・・・、という方でもインターネットで情報発信できます。

「建築士を探そう」netのしくみ



「建築士を探そう」netの費用

フォーマット 1	フォーマット 2	フォーマット 3・4
<ul style="list-style-type: none"> ●文字情報による業務詳細案内 <p>申込書「文字データ」 入力費 1,000 円 管理費 300 円/月 (3,600 円/年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●作品写真+文字情報による業務詳細案内 <p>「写真 2 枚+文字データ」 入力費 3,000 円 管理費 300 円/月 (3,600 円/年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●作品写真+文字情報による業務詳細案内 <p>「写真 5 枚+文字データ」 入力費 4,000 円 管理費 300 円/月 (3,600 円/年)</p>

詳しくは <http://www.abanet.jp> へ。お問い合わせは滋賀県建築士会事務局まで。

平成22年度 第3期 一級・二級・木造建築士定期講習開催

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級・二級・木造建築士に対し、それぞれ定期講習を3年ごとに受講することが義務付けられています。なお、経過措置として、平成24年3月31日までに最初の定期講習を受けなければならないこととなっていますが、開催回数と定員に限りがございますので、お早めの受講をお願いいたします。

お申し込み
ください!

- 開 催 日：平成22年12月3日(金)
- 開 催 場 所：ピアザ淡海 大津市におの浜1-1-20
- 定 員：180名
- 配 布：随 時
- 申 込 期 間：平成22年8月30日(月)～10月29日(金)
- 配布・申込時間：午前9時30分～午後4時30分
- 配布・申込場所：(社)滋賀県建築士会事務局
- 配 布 価 格：無料(受講申込者1人に1部)

*期間中であっても、申込書の配布部数が予定枚数に達した場合、配布および受付を終了します。
*郵送による受講申込の受付は一切致しません。受講申込書関係書類の記入内容の確認を行いますので、必ず滋賀県建築士会へご持参下さい。(代理可)

- 配 布 価 格：無料(受講申込者1人に1部)
郵送での配布については、「定期講習受講申込書希望」と明記の上、送付先住所・氏名を記入したA4サイズの封筒に(1部希望の場合)140円切手を貼ったものを、(社)滋賀県建築士会へ郵送して下さい。
- 受 講 手 数 料：テキスト代を含む 15,750円(内消費税 750円)

講習の時間割 《予定》

時 間	項 目	内 容	
9:00～9:30		受 付	
9:30～9:35	受講説明	・講習概要の説明、注意事項の説明	
9:35～15:55	講 義	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目	
16:20～17:20	修了考査 (テキスト持込可)	一級建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目 40問、正誤方式
		二級建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物(法3条に規定する建築物を除く。)の設計及び工事監理に関する科目 35問、正誤方式
		木造建築士	・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物(法3条及び3条の2に規定する建築物を除く。)の設計及び工事監理に関する科目 30問、正誤方式

お問合せ

(社)滋賀県建築士会事務局 TEL.077-522-1615

平成22年度 地域貢献活動基金助成事業・団体決定 滋賀地域貢献活動センター

昨秋、応募受付を行いました「地域貢献活動基金」に助成申請されました活動団体の中から県内2団体への助成が決定いたしました。助成を受けられる団体は今後、計画に基づき事業の実施を行なったのち、事業報告会などを通じ活動の成果、事業内容の詳細について報告されます。団体名、事業計画、選考理由などについては以下のとおり。

活動団体名	活動者数	事業総額	交付総額	今回申請した活動の目的	選考の理由
特定非営利活動法人 ヴォーリズ建築保存 活動運動 一粒の会 代表者:白井貞夫	95名 内士会員 (5名)	518,000円	250,000円	旧八幡郵便局舎を訪れた方にヴォーリズ建築に関する情報を提供するため展示パネルを整備し、当局舎を情報発信基地として保存の推進を図る。	保存再生活動を通じ、歴史を活かしたコミュニティー育成・まちづくり活動と様々な活動をされている、本事業により、より一層の活動が期待される。(抜粋)
湖北古民家再生 ネットワーク 代表者:杉野吉成	35名 内士会員 (12名)	1,000,000円	500,000円	古民家の修繕体験等を通して古民家に対する理解を深めてもらうこと、空き家を地域資源として活用して、地域のにぎわいを呼び戻す事を目的とする。	地域の古民家を利用することにより、地域の交流を促進すると共に、古民家の理解を深めてもらうという地域資源の活用・地域活性に有意義な活動である 建築士のPRとなる。(抜粋)

8月の暦

1	日	友引		11	水	友引		22	日	先勝	
2	月	先負	耐震判定評価委員会	12	木	先負	夏期休暇	23	月	友引	
3	火	仏滅		13	金	仏滅		24	火	先負	
4	水	大安		14	土	大安		25	水	仏滅	構築・連携特別委員会
5	木	赤口	・総務企画委員会 ・四役会	15	日	赤口		26	木	大安	
				16	月	先勝	↓	27	金	赤口	
6	金	先勝		17	火	友引		28	土	先勝	
7	土	友引		18	水	先負		29	日	友引	
8	日	先負		19	木	仏滅		30	月	先負	
9	月	仏滅	・青年部会運営委員会 ・情報広報委員会	20	金	大安	・四役会・理事会 ・評議員会・OB 懇親会	31	火	仏滅	

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

第9回

停電 apagon と盗電 radron

この国では停電がよく起こる。日常茶飯事である。これだけ頻繁に停電が起こるので、いろんな場所で停電に出くわした。便所で用足しをしているとき、エレベーターの中にいるとき、夕食の支度に料理をしているとき、仕事中に突然電気が切れてパソコンが止まったこともあった。とにかく良く起こるのである。信号も例外ではない。私の知る唯一の例外は2009年1月末に操業開始した地下鉄である。1年半が過ぎたがこれまで停電が一度もなかった。

そのくせ電気代はしっかりとれるところから取る。そんな姿勢が丸見えである。電気代は毎月決まって請求が来るが払い忘れてもしたら大変である。すぐに供給停止である。

そしてもう一つの不思議は、盗電の多いことである。勝手に自分のうちに電気を引く工事をしてしまうのである。電気代を支払っていない者が190万件だとある日の新聞に書いてあった。



家庭内の蓄電池である。通電中に蓄電して停電に備える。



電柱と入り乱れた電線が物語る。きちんと管理できていないので盗電も日常茶飯事のようなのだ。

滋賀の街道

有川製薬株(鳥居本宿)

南からまっすぐに伸びていた街道が鉤手に曲がるところに大きな屋根構えの家がある。

「赤玉神教丸」を製造、販売する店舗で近江名所図絵にもこの薬を求める旅人の姿が描かれた鳥居本の名産。この薬は下痢、腹痛、食傷などに効果があり多賀大社の神教によって調合したためにその名があるという。万治元年(1658)頃の創業と伝える老舗で現存する建物は宝暦年間(1751-64)に建てられたと伝える。

・近江中山道ガイドブック(近江中山道400年記念事業実行委員会)より

